



◀「無題」30×12×5cm 発泡バインダー、顔料、他 2012年

転写の妙—2012年画廊企画PART7

阿部大介 展

— 剥がされるのもの・剥がすもの —

2012年9月8日[土]-16日[日]

AM10:30-PM7:00(火曜休廊)

子供のころ セメダインを指や肌塗り 乾いたそれを上手にはがし取ると そこに肌の模様が転写され わくわくした記憶がある
 乾いたセメダインが気持ちいいように剥がれる その感覚がとても楽しかったと同時に
 肌の模様がセメダインという別の物質に転写されることで
 自分自身が肌模様と共に異なる存在になって 移動生まれ変わるような錯覚が面白かった ということもあるかもしれない
 阿部大介のこの作品プロセスの序奏は これにとっても似ている気がする
 対象に発砲バインダーを塗り、その物質の凹凸を転写させ 剥がしとる
 対象を彩色することでその対象が再現されつつも その再生の形成方法によってまた 新たな立体として
 その存在を別次元の存在が誕生する
 果たしてそこにはどんな命が宿るのだろう

画廊主 梅津宏規

阿部大介

1977年 京都生まれ/'02 京都精華大学芸術学部造形学科版画卒業/'04 愛知県立芸術大学大学院美術研究科修了 [個展] '08 個展 (AINSOPH DISPATCH・愛知) / '09 一モノ・コトの貌-INAXギャラリー・ギャラリー2・東京/かたまりへ (GALLERY M/愛知) [主な展覧会] '01 PRINT Exhibition 2001 (同時代ギャラリー・京都) /第26回全国大学版画展 買上げ賞 (町田市立国際版画美術館・東京) /京展・京展賞 (京都市美術館・京都) /NEWTRAL PACK (名古屋芸術大学内・Art&DesignnCenter gallery BE&be・愛知) / '03 BIBLIOTECA-ARTE(長久手中央図書館・名古屋)同 '05/新言語vol.1] (愛知県立芸術大学内) / '04 交流展 (名古屋造形芸術大学内・WHITE HOLE・愛知) /日本国際交流基金50周年記念展 (タイ国立美術館・バンコク) /版の思考・版の手法 (愛知県美術館ギャラリー・愛知) / '05 『Independent イメージと形式 2005』 (愛知県美術館ギャラリー) / '06 Indirect (長久手中央図書館・名古屋) /CONNECT Impression on paper] (Silpakorn University・バンコク) / 『Independent イメージと形式 2005』 (愛知県美術館ギャラリー) / '07 CAP ART FAIR 2007 (CAP HOUSE・兵庫) /Double Realoty (愛知県美術館ギャラリー・愛知) / '09 落石計画 第2期/Scattered Seeds 残響 (旧落石無線送信局跡・北海道) /image print project vol.3を発行 (フリーペーパーの紙面での展) / '10 あいちアートの森 -アートが開くあいちの未来- (東陽倉庫テナントビル・愛知) /アイチ・ジーン-some floating affairs- (愛知県立芸術大学芸術資料館/愛知) / [パブリックコレクション] 愛知県立芸術大学芸術資料館、町田市国際版画美術館、SILPAKORN UNIVERSITY (バンコク)



群馬県前橋市文京町1-47-1 〒371-0801
 Tel 027-223-6311(代) Fax 027-221-5909
 E-mail suiran@suiran.com
 URL <http://www.suiran.com/>

